京城日報 夕刊 九月二十七日(日)
發行人 中野正剛 印刷人 小川三郎
發行所 京城日報社
大田 辻醬油釀造

南支不穩に陷る

南支形勢不穩 出先官憲に訓電

萬一の場合遺漏なき樣

【東京電報】外務省は南支各地の形勢不穩なるに鑑み二十六日出先各領事に訓電を發し、警戒を嚴にし萬一の場合引揚げに遺漏なきを期するやう、更に支那官憲に在留邦人の保護に極力當るやう要求せしめた

慷慨悲憤の演說後 宣戰布告請願決議

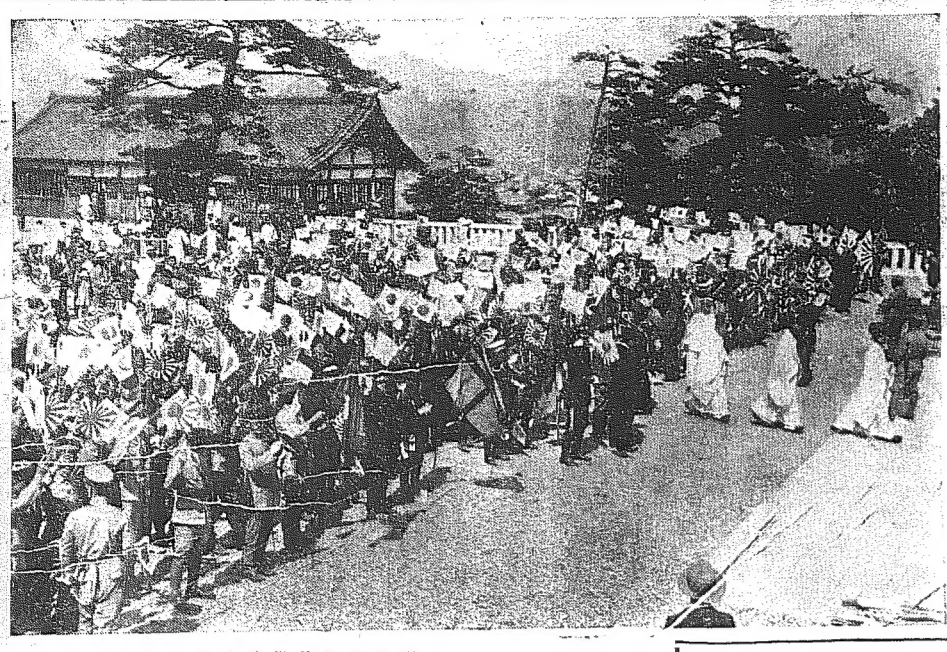
上海の抗日救國市民大會

【上海廿六日發電】本日の抗日救國市民大會は例によつて反日の宣傳隊沿道、主要場所數十名組織班の演說を爲した後『即時出兵宣戰布告を國民政府に請願す』と爲激な決議を爲し午前十一時半散會した

東洋鬼子を叩き殺せ

殺氣立つた參會の群衆

【上海廿六日發電】上海抗日救國市民大會は廿六日午前十時支那商店市場賣場に開催された。この日仲秋節に當り支那街大商店は皆閉店し日本痛罵開戰要求の激越なビラを貼り出し、市民は學生々徒に至るまで反日標語を書いた旗を手に手に會場に集合し約三萬に達し悲憤慷慨的演說が始まつた



滿蒙權益擁護大會の神宮前における萬歲三唱

市民大會の決議要項

【上海廿日發電】廿六日の上海市民大會における決議實當等の全文が發表されたが、決議中には一、中央政府に訓令し日本に譲り日市民の興奮は極度に達し記者の自動車が群集中で立往生するや『東洋鬼子（トンヤンクイツ）たゝき殺せ』と叫んで唾を吐きかけ、自動車もろとも鐵拳の雨に遭はんとしたが辛くも逃げ得た

學良氏の捨鉢 對日宣戰布告を病院でうそぶく

と爲電した（滿東電通社發）

【奉天廿六日午後六時三十分（滿洲時）發電】張學良氏は現在病院に入院中であるが、張學良氏は學良氏の下野を要求した、又北京滯在中の張學良、張作霖氏らは從來の東北の對日態度につき學良氏を難詰したが、學良氏はこれに對し何とも答へなかつたとの事である（滿東電通社發）

【奉天廿六日午後十時三十分（滿洲時）發電】張學良氏、閻錫山、馮玉祥氏に對し萬事を要求し、學良氏は學良氏の下野を要求した、又北京滯在中の張學良、張作霖氏らは從來の東北の對日態度につき學良氏を難詰したが、學良氏はこれに對し何とも答へなかつたとの事である（滿東電通社發）

武器、軍馬等 支那の準備

又新たに發覺す

【奉天廿六日午後十時三十分（滿洲時）發電】當地ワンシ方面の邦人は支那人の暴行やまず危險まゝ〳〵なるので昨夜同方面の邦人婦女子は全部日本人學校内に避難した

【香港廿七日發電】當地支那人の邦人暴行はまゝ〳〵激化して來たのでもつとも危險區域とされてゐる方面の邦人婦女子は全部日本人學校内に避難した

香港で邦人 六百名避難

同地小學校に

排日暴行益々惡化 邦人婦女子避難

【ホンコン廿六日發電】當地支那人の邦人暴行はまゝ〳〵激化して來たのでもつとも危險區域とされてゐる方面の邦人婦女子は全部日本人學校内に避難した

【東京電報】外務省當局は廿七日午前九時から九時半に亘り外務大臣、次官、政務局長、亞細亞局長、條約局長、通商局長、情報部長、書記官長、參與官、官房主任等の出席の下に對支問題に關し十分に意見を交換

人・人・人 人・人・人

惠まれたけふの行樂會

◇……行樂の秋だ——だ二十七日の日曜は絶好の日和に惠まれて近來にない人出、電車バスは滿員の盛況、運動場、野球、各小學校の運動會、漢江畔、清涼里へと郊外の秋を探りに行く都會人士もかなりに多い、競馬場、昌慶苑は家族連れのピクニックで賑はつてゐる。昌慶苑では動物園も猛獣園も子供連れの家族があちらこちらに陣取つてたこやかな光景を示してゐる

◇……東大門外の競馬場は朝日の盛況はせ間出でけふは郊外の人氣をそゝり、朝十時といふにすでに場内は非常な雑踏を示した。今年から複勝式にした所が大いに客受けがよい感である、五分間で二百余圓を懐に入れてほゝ笑んでゐる奴さんがあつた。午後二時からは京城グラウンドで久し振りの野球試合——慶應、龍中兩選抜軍戦で、双方から來る往復ごとに熱を持つた高校の應援生徒を讃嘆してゐるしばらく野球戦が杜絶えてゐたゞけにファンもかなりに多い

◇……こゝ朝鮮神宮はこの日曜を利用して在鄭道人會主催の國葬祭祀、益陽縣大會が開かれた鎮洲郡伊の眞殿中として國を惠ふ人々の祭り賣に賑ふ。手に〳〵朝日と旭日旗を携へ機益陽縣にふさはしい賑やかさを示す、日曜のことゝて兵隊さんも多數打ち連れて來てゐた、南山小學校、南大門小學校は秋の運動會だ、鎮宮持ちで父兄が詰めかけて、南大門小學校などは雑踏で校門を閉める有樣

◇……秋の大町通り、御成通りも好天氣にゆゝまれて朝から往來繁く、相當の賑ひ上げを見せてゐる——廿七日の日曜の人出、少くも二十萬といはれてゐた

東京地方の暴風雨

今拂曉猛烈を極め 浸水家屋も莫大の數

【東京電報】二十六日正午頃から關東地方は久し振りの降雨に惠まれたと思ふも束の間、夜來二十七日拂曉に至りいよ〳〵激しく暴風雨となり朝方滿ちんだが東京市内郊部とも出水甚だしく二十七日正午までに警視廳に集つた浸水家屋は寺島警察署管内の九千餘戸を筆頭に、市内外を通じて六千餘戸に達した、なほ暴風雨の計際によると東京地方二十六日朝六時以降二十四時間の總雨量は平均百ミリ（三百八十六分の升五合）に達した

壓死者七名出す

屋の下敷となつて壓死した者七名を出した

【東京電報】廿七日午前二時頃折り柴町に横須賀市内に倒れ三ヶ所あり、倒壊家

住宅七戸を埋沒

壓死者四名を出す

横須賀市内の慘害

【横須賀電報】横須賀市内の浸水家屋は約一千五百戸、倒れ二十二ヶ所に達し、廿七日午前二時頃市内潮入町の高さ二十間の崖三百餘坪崩壞し住家七戸を埋沒したので海兵團、在鄭軍人、消防隊出動の上掘出しを行つたが、遂に四名の壓死者を出すに至つた

戰前既に殺氣滿つ

應援團の小旗も一入の壯觀

兩軍ベストメンバーで對峙

慶熙龍中野球戰

【東京電報】廿六日午前十一時頃、龍中軍は第一回戰は二十七日午後二時から京城グラウンドで行はれたが今秋は殊に先輩名手をえりすぐつての對戰とて熱狂的な多く陣の通り一帯は赤に白く京中とうき出した應援旗を掲げた慶熙の應援團が陣取れば三塁側には紫の長旗に囲じく白く龍中と書いた旗をたびかせて龍中應援團が對峙し早くもこの試合からでは見られぬ殺氣が漲ちてゐる。秋雲のたなびく空から白く光る陽ざしはやゝ強いけれど風もない絶好の野球日和、その中をカーン〳〵と響く神宮のフリー・バッティングすでに戰前から龍中チームは背中に赤シャツに染めた番號を大きく張つてゐるかくて慶熙選抜チームにあざやかなシートノックがあつて後メンバーの發表があつたが、慶熙は投手に捕を立て先輩が二番から六番までつゞけたベストメンバーであれば、龍中も現役の一部員をマウンドに送り永田、小澤、中村の先輩が攻撃の中心といふ最上の陣容である。兩軍はまづ試合前にプレートを中心として整列し挨拶をなし主審・中村庫主審の手により國旗掲揚式があり、つゞいて春の野球慶熙より優勝旗の返還、福島龍中殺傷の選手に授與、慶熙龍中野球戰は廿七日午前二時頃開始、一時半、二時半、三時半、四時半、五時半、六時半、七時半、八時半、九時半、十時半、十一時半、十二時半

煙草の怪物

江原道に現る

里金明燦氏で、煙草めたけ十尺、初橋鎮八十七枚といふ珍種である。昨年通民の火に十六七枚のものに比すれば驚に五倍以上もある。何時か鎮越地方に蔓した八十三歳の煙草があつたが、これはそれよりも四枚多い譯で、販賣局でも大いに重視し、去る十日から床を設けて鑑定に努めてゐるさうだ。品種は金城産来の優秀種である。（寫眞は昨朝局員高瀬鉉氏の手によつて同上煙草の煙草茎）

湖南實業野球聯盟

瓦壞の危機に瀕す

神宮競技豫選地問題から

本春以來の内訌も再燃し

木浦の態度を糾彈

木浦に本部を置く湖南實業野球聯盟は今春やつと第一回のリーグ戦を行つたばかりまだ秋のリーグも やらずにゐるが、最近神宮競技事務所及び場方に渡き、神宮競技事務所及び木浦本部のやり方に對き各地に輪論を起し湖南聯盟もまた瓦壞の危機に瀕してゐる。瓦壞といふは神宮競技出場多年推薦によつて出場したものであつて、今年は湖南からは不幸にも出場チームとして推薦されるに至らなかつたが、他に不參チームが出來たために湖南からも一チーム出場させる事になつたらしく

この間において當聯盟における事務所が左側の方面となつたのが或は木浦本部が強制したのかは判然せぬが、過日木浦本部より全州、裡里、群山、大田の各體育協會に宛て二十七日湖南選抜を木浦にて舉行不參は裏切とする旨の通牒を發したので各地チームとも憤昇に水を地理の關係上裡里が各地の意見を聞め全南は木浦一チーム（光州不明）であり全北、忠南は四チームであり、この際中心地たる裡里で行ふ事が最當であり、木浦といふ言の返事を出したが二十六日に至り又々

◇大田、全州、群山、裡里四チームの參加を裡里で行ひ、それと木浦と決勝しようといふ意味の返事が來たので裡里としてはこの旨各地に取り次いだが各地とも木浦の横暴に業を煮やし

吾々は神宮競技の出場に關し、木浦本部の存在の理由を認めない、從來同聯盟の出場は推薦の方法を採つて居たものであり、これが強制を行ふとするならば二聯は各チームに後援地其他の打合せはあつて然るべきである。

チームのために最寄の木浦まで四チームが多額の旅費を投じて參加せしめるとは不合理も甚だしい。なほ裡里で學行する のならば兎も角、强いて強制地を木浦として、これに不參加を寒蟬と見たる樣の事あらば、大田、群山、裡里、全州、光州一致して、今春以來當初となつてゐた矢部聯盟の脱退名をこの際決行するといふ意見に合致しその旨裡里から木浦に通告する事になつたなほ木浦除名といふ事は木春の聯盟（既設）に當つて、チームの變成行は申込後は絶ない規定である（全南）

12－4

朝窒車優勝す

神宮競技北鮮豫選

朝鮮神宮競技野球大會に出場すべき北鮮代表チームを決定する豫選試合は十六日午後二時十五分から咸興高等學校において咸興、朝窒兩チームによつて舉行された。高潮（球）青柳、太田（捕）鄭氏審判、觀衆先攻

咸興 0 0 0 1 1 2 0 0 0 4 12
朝窒 1 0 0 0 0 5 0 4 0 ×

◇一回（朝窒）黒田三越安打、中川中飛、松村○—一に黒田代走補木、二盗を企て封ぜられ松村四球、高岡遊撃失（代走松村）二盗大濱の二塁失に高岡生還、清水○—二に大濱三盗せしも清水三振、咸興中田投前、正岡捕手見逃を盜塁して出て下手（見）○—一に二盗下手（見）四球、河村中飛、妻二塁（朝窒）咸興○

◇二回（朝窒）木村遊撃失に次いで三盗、内田二塁左飛（咸興）遊撃内野安飛、黒田左飛（咸興）遊撃三塁内野安飛、黒田左飛（咸興）遊撃三塁内野安飛、黒田左飛（咸興）遊撃三塁

醜婦質傳維新俠艶録 (108)

橋爪彦七氏作
竹内静古氏畫

天女亂舞（首二）

この機會が、六角の隠居の待つてゐたところなのである。

（何様のことがあらう）

斯う考へて、乘り移つた源三郎の眼に、隠居の出たのは云ふまでもない。

『ぢ、ぢ、』

と、源三郎が聲を呑んで立ち直らうとしたが、遅し居眠りが悪い。一歩踏み誤れば滑ると眺れてゐる安箱川の流ッ早い中だ。

『むッ！』

と、源三郎が聲を呑んで立ち直らうとしたが、遅し居眠りが悪い。一歩踏み誤れば滑ると眺れてゐる安箱川の流ッ早い中だ。

闇の——船の中で、二つの影が一つになつた。と見る間に、その影に更に二つに別れて、一つが倚れて別の一つが、その上に覆りかゝつた。

『チェイーッ』

と、唇を咬んで呻く聲がした。

源三郎である。

隠居はうと見ると驚然たるものである。急がず——

『馬鹿！』と身の旋むやうな一喝を浴びせておいて

『見えるかこれがッ』

その聲を聞くと、敵は、躍りかゝらうとする勇氣を——いや勇氣を失つてしまつた。

見れば味方の一人であらう黒影が、隠居の脇の下に逞いてゐるのだ。

『女に、指一本でも觸れて見よ！すぐ此奴の首に、風穴があくぞ』

敵は、たしかにハッとたじろいだ。だがその逡巡を打る破る隠居の

たつぷり清涼

たぶ、そして背後に隠居をかばつて、たゞ一人、敵に、對した。

『うぬ——』

正氣に返つた敵が、俄然として躍りかゝらうとしたのは當然である。

が、間髪をいれずに隠居の聲が、雷鳴の如く響いた。

『馬鹿！』と身の旋むやうな一喝を浴びせておいて

『見えるかこれがッ』

隠居の脇の下に逞いてゐるのだ。

『女に、指一本でも觸れて見よ！すぐ此奴の首に、風穴があくぞ』

敵は、たしかにハッとたじろいだ。だがその逡巡を打る破る隠居の

代表的なら清は
殖産なら清
永樂町市場
本舗 田中清物店

隠居の脇の下で起つた。

『構はぬ！拘束者の生命だと、どうなつてもよいのだ一女を——』

源三郎が、摘て身になつた叱咤である。

出版界

●質樂の日本・九月十五日號『運命を決する選挙期日相撲乞』政界財界のうまい人の警語『大銀行家の見た貯蓄』六論を始めとし『年二十億圓に四上げる運動問題』『年期ある店員待遇問題』『生産・貯蓄を伴ふ農家保護制』『米國で大森林を開拓した堀拳太郎』『語をのます肺病全治機械』『秋口の頭腦明快法』等時節柄の好題目をとらへてゐる。興味より實益をねらふ内容、不況時代の必讀雑誌に數へることができるだらう（西一の三質樂社金一錢五厘）東京銀座

●婦人世界（十月）表紙といひ口繪といひまことに婦人雑誌の王座を占めるにふさわしく、美しい感じが全誌面を流れてゐる。まづ『赤ちゃんから十二、三歳までの子供本位、配色本位の新型毛編物』を特輯にならんで、今秋新型の男女星用毛編編物や、今秋新編解で極めて親切に說明してあるのがよい。人間テレビジョンといはれる百般百中透視家の發見、市井高女校長林職事件の謎の眞相發表、獨特の各種身の上相談、最新式近代化粧法、一品十錢でできる安價な和洋支那料理十二種、婦人職的に帶に襷んだ生活を振り放し

代表的なら清は
殖産なら清
永樂町市場
本舗 田中清物店

が、すでに後方から追つてくる別の船を見てゐるのだ。六角の隠居がそれに注意してゐることは明らすぎる事實だが、さて、何うあがかうにも船の中だ。いや危險極まる水上のことだ。

（どうする？）

隠居は、自分の腕に力つれたのであつた。

その時である。不意にまつたく不意に、さつきの生捕——熊松の耳朶に轉がつてゐた黒い影が、ひくりと立ち上つた

『呼ッ』

隠居は、すぐ抱松は聲を揚げると、無意識的に帶に襷んだ生活を振り放し

將棋新手合六

（第八六步）

（後手）先▲四歩 ▲同歩 ▲同飛 ▲二四歩 ▲同飛 ▲二四歩 ▲同飛 ▲二四